

令和 7 年度 スマート海上バス「ゆき姫」試験運航の結果について

1. 試験運航（昨年度及び今年度）の概要

「大崎上島町～竹原港」の航路において、自動運航機能付き船舶（スマート海上バス「ゆき姫」）を用いて、夜間・早朝の時間帯の旅客輸送サービス、及び週 1 日の生活用品等の輸送サービスを実施

実施主体：大崎上島町

事業運営：株式会社エイトノット

運航主体：有限会社バンカー・サプライ

[A] 旅客輸送

	令和 6 年度	令和 7 年度
試験運航の期間	令和 7 年 1 月 13 日（月） ～3 月 31 日（月）	令和 7 年 7 月 25 日 ～10 月 20 日
運航形態	定期航路 ※事前予約が必要、ただし予約がない便も運航	不定期航路 ※事前予約が必要、予約がない便は運航しない
運航曜日	夜間便：金曜日、土曜日、日曜日 早朝便：月曜日 ※フェリー営業時間外に運航	夜間便：金曜日、土曜日、日曜日 早朝便：月曜日 ※フェリー営業時間外に運航
航 路	大崎上島町（白水港/福浦港/鯉崎港） ～竹原市（竹原港ビジター桟橋）	大崎上島町（白水港/福浦港） ～竹原市（竹原港ビジター桟橋）
運 費	1,000 円（消費税込） ※PayPay での支払い可	1,500 円（消費税込） ※PayPay での支払い可

[B] 貨物輸送

生協ひろしまの協力のもと、生野島住民が組合員となった上で、実際に暮らしで必要な商品を、注文に応じて配送するサービスを実施。

なお、大崎上島では、生協ひろしまの宅配サービスが既に実施されているが、二次離島である生野島へは、配送コストの高さが支障となり実施できていない。そのため、本業務の二次離島への商品宅配サービスの実現は、生野島住民にとって期待が大きい。

[参考：商品輸送当日の流れ]

①月曜日に、商品を積んだ生協トラックが竹原港へ到着

⇒ ②トラックから船舶に積み替え（生協スタッフ他） ⇒ ③竹原港 11:15 頃出航

⇒ ④福浦港に到着 ⇒ ⑤乗船員が、商品を船舶から福浦港待合所へ運搬

（福浦港待合所から各世帯への配送は、島民が実施）

■スマート海上バス ゆき姫



※乗船定員 12名で運航

■周知ツール等（令和7年度）

<ポスター>



<チラシ (2種類)>



<テレビ取材>



<立て看板>



2. 試験運航の結果

[A] 旅客輸送サービスの結果

①利用者数

令和 7 年度事業における利用者数は 42 人であり、昨年度事業よりも少ない結果となった。

※令和 6 年度と比べると、令和 7 年度は「飲食」や「試乗」目的などの利用が少ない。(次ページ参照)

表 運航回数と利用者数

	令和 6 年度	令和 7 年度
運航回数	40 回	20 回
利用者数 (人)	80 人	42 人

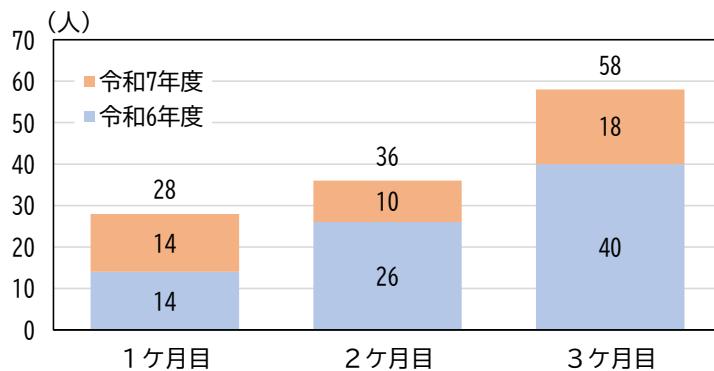


図 利用者数の推移

②利用曜日と区間

利用曜日は、令和 7 年度では「土曜日」の利用が最も多いが、令和 6 年度との合計では「金曜日」の利用が多い。

利用区間は、令和 6 年度、令和 7 年度の両方で「竹原→大崎上島」の利用が多い。

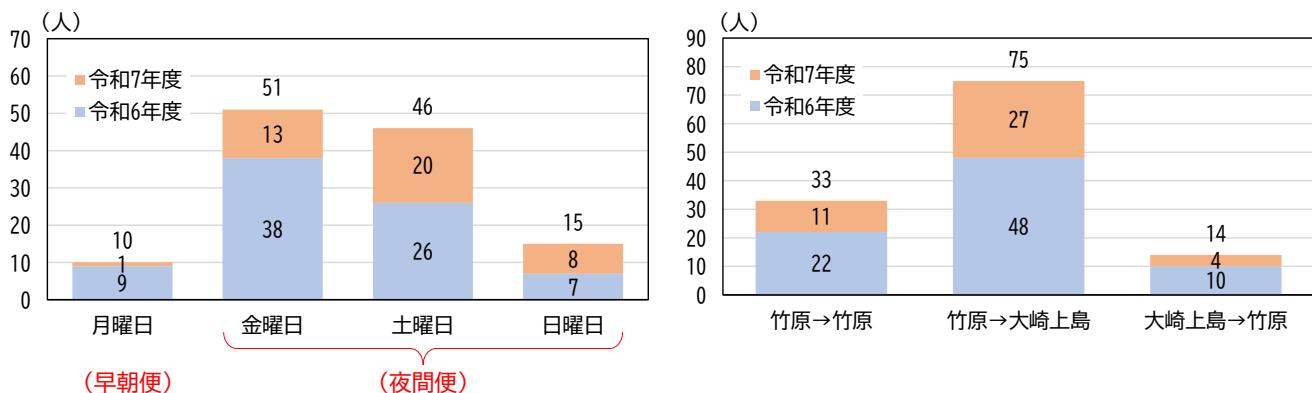


図 利用曜日・区間

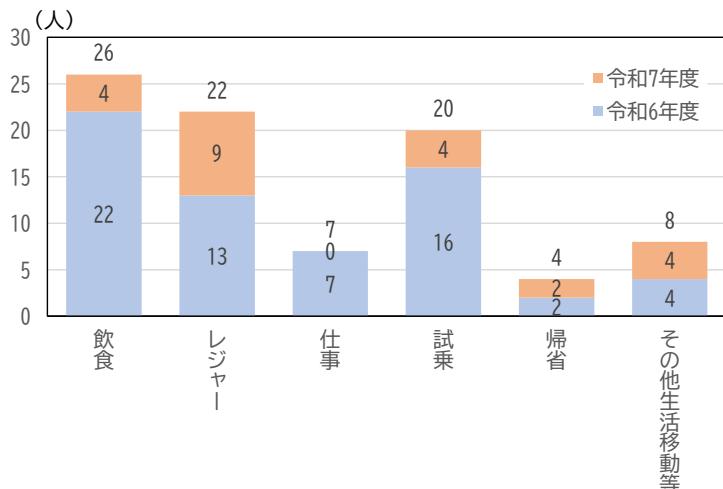
③利用者アンケートより

注) R7年は9月末までの回収結果より

ア) 利用された目的

「ゆき姫」を利用した目的は、「飲食」「レジャー」「試乗」が多い。年度別では、令和6年度は新年や年度末の飲食機会が多い時期でもあり「飲食」の割合が34%と高く、令和7年度は夏～秋の時期であることから「レジャー」目的の割合が39%と多い。

また、「試乗」を目的とする利用は、令和6年度が25%であり、令和7年度の17%よりも多い。



目的分類	令和6年度		令和7年度		計	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
飲食	22	34%	4	17%	26	30%
レジャー	13	20%	9	39%	22	25%
仕事	7	11%	0	0%	7	8%
試乗	16	25%	4	17%	20	23%
帰省	2	3%	2	9%	4	5%
その他生活移動等	4	6%	4	17%	8	9%
計	64	100%	23	100%	87	100%

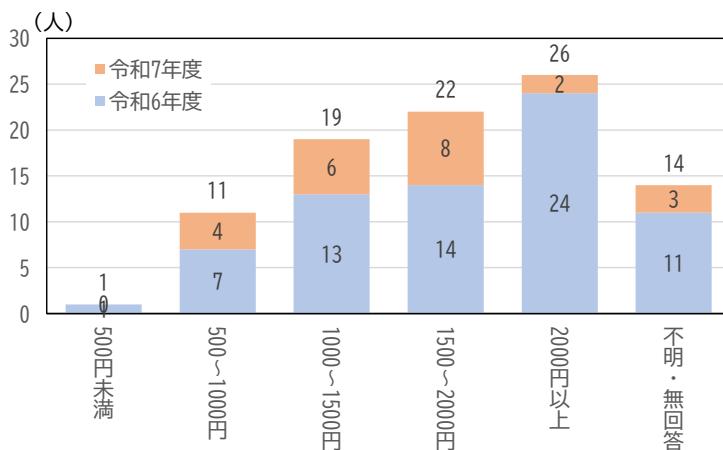
(R7結果の一例) ※想定した内容を抽出

- ・広島市内でカープの試合を見た（途中で出たけど）
- ・広島市内でサンフレッチェの試合を見てきた
- ・広島市内で友人と遊んだ

図 利用した目的

イ) 支払ってもよい運賃

支払ってもよい運賃では「2000円以上」の回答が最も多いが、年度別でみると、令和6年度は「2000円以上」が38%を占め最も多く、令和7年度では「1500～2000円」が35%と最も多い。



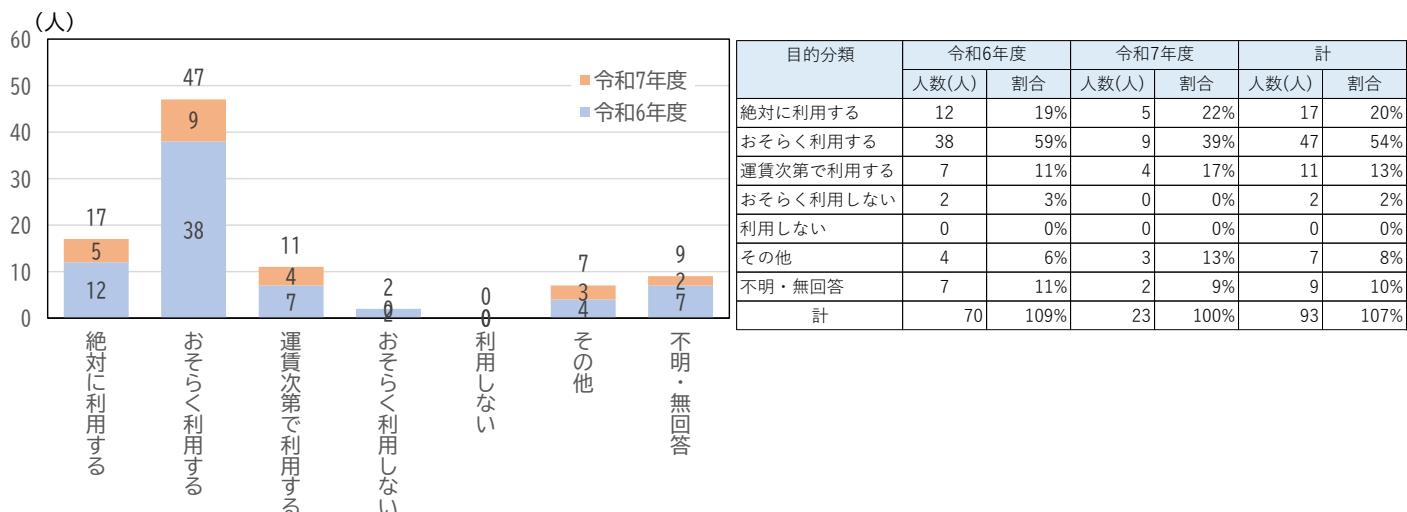
目的分類	令和6年度		令和7年度		計	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
500円未満	1	2%	0	0%	1	1%
500～1000円	7	11%	4	17%	11	13%
1000～1500円	13	20%	6	26%	19	22%
1500～2000円	14	22%	8	35%	22	25%
2000円以上	24	38%	2	9%	26	30%
不明・無回答	11	17%	3	13%	14	16%
計	70	109%	23	100%	93	107%

※試験運航時の運賃は、
令和6年度が1000円、令和7年度は1500円である

図 支払ってもよい運賃

ウ)本格運航後の利用意向

本格運航後の利用意向は、令和6年度、令和7年度ともに、「おそらく利用する」が最も多い。また、「絶対に利用する」と回答した人は約2割である。



[B] 貨物輸送サービスの結果

●受注実績

- 試験運航期間における、生協ひろしまの商品を配送可能な日数は、令和6年度が12日、令和7年度が13日である。
- その全ての日において、商品配送が発生したことより、生野島住民に好評だったといえる。